

# 防災カード

氏名 \_\_\_\_\_

血液型 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

自宅電話 \_\_\_\_\_

健康保険証番号 \_\_\_\_\_

かかりつけ医療機関	
名称	_____
住所	_____
電話	_____
備考(障害・病名・常用薬・アレルギーなど)	
_____	

火災・救急は**119**番  
警察は**110**番

NTT災害用伝言ダイヤル  
・録音**171+1** + ( )-( )-( )  
・再生**171+2** (自宅電話番号)

家族の連絡先(会社・学校など)

氏名	_____	続柄	_____
通勤先	_____	電話	_____
氏名	_____	続柄	_____
通勤先	_____	電話	_____
氏名	_____	続柄	_____
通勤先	_____	電話	_____

家族の集合場所

\_\_\_\_\_

家族の避難場所

\_\_\_\_\_

好きやねん この街この家! 守ろう安全 築こう安心



一般財団法人 大阪建築防災センター

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17  
TEL.06-6943-7253 FAX.06-6943-6740  
<https://www.okbc.or.jp>

小学校 年 組

名前

# みんなであらう



# みんなで 考えよう

## もくじ

1	地震	2
2	津波	5
3	火事	7
4	かみなり	10
5	台風	11
6	集中豪雨	13
7	準備しておこう	15
8	学校	19
9	エレベーター	21
10	エスカレーター	23
11	自動ドア・回転ドア	25
12	防火シャッター・防火戸	27
13	めざせ!防災博士〇×クイズ	29



〇×クイズの答え 1× 2× 3× 4× 5〇 6× 7〇 8× 9× 10× 11× 12×

# 1 地震

## 地震の時に役立てよう

### ●地震の時、どうすればよいかをみんなで話し合おう。



- 1.どこににげるとよいのか
- 2.何を持ってにげたらよいのか
- 3.家族との連らくの**ほうほう**は?
- 4.だれが何をすればよいのか

### ●家の中は安全かどうかをたしかめよう。

重たい物・とがった物は、落ちたり、たおれたりするとあぶないので、

- 1.置き場所をかえよう。
- 2.テレビやタンス・本箱がたおれなくふうをしよう。



### ●地震が来るお知らせ

#### 緊急地震速報

テレビやラジオなどで、大きな地震が来ることを知らせてくれます。



# 地震が起きた時はこうしよう

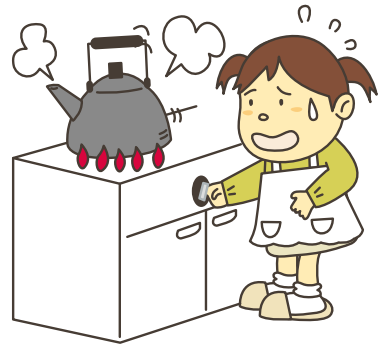
## ●グラリ! まず身を守ろう。

ゆれが始まったら、すばやく机やテーブルの下にもぐったり、頭に物が当たらないように、しっかり身を守ろう。



## ●使っている火を消そう。

地震の時、こわいのは火事。ゆれがおさまったら、消せる火は、出来るだけ早く消そう。やけどしそうな時は、無理をしない。



## ●窓や戸を開けて、にげ道をつくろう。

地震で窓や戸がゆがむと開かなくなって、とじこめられる危険がある。ゆれがおさまったら、窓や戸を開けてにげ道を作っておこう。



## ●あわてて外にとびださない。

家の中も外も危険がいっぱい。けがをしないようにして、にげよう。けがをしやすいのは、頭と足のうら。



## ●外にいる時はどうする。

外にいる時に地震が来たら、公園などの広場ににげよう。ガラスやかわらが落ちてくる危険のある時は、手に持っている物を頭に乘せ、頭を守ろう。



## ●ブロック塀などには近づかない。

ブロック塀・かんばん・電柱・自動販売機・とりい・灯ろうはたおれてくる危険がある。下じきにならないように、注意しよう。



## ●自分勝手に動かない。

家族や先生の言うことを聞こう。みんなで協力して歩いて避難しよう。

## 津波からにげよう

地震が起こると、海や川の近くでは津波が来ることがある。  
 大きな波が押しよせ、強い力で港や家をこわして街をのみこむ、  
 おそろしい津波から身を守るには、津波から急いでにげよう。

### ●海の近くにいるときは、急いでにげよう。

津波が押しよせてくるスピードはとても速い。  
 海の近くで地震のゆれを感じたら、急いで海からはなれよう。  
 津波が来る前に、海からはなれた高台ににげよう。



### ●より遠く、より高い場所のにげよう。

できるだけ、海から遠くはなれた高台ににげよう。  
 高台がないときや、高台にたどりつけないときは、  
 がんじょうな高い建物の上の階ににげよう。



### ●川や水路から、急いでにげよう。

津波が、川や水路を逆流してくる  
 こともある。  
 地震のゆれを感じたら、  
 川や水路から急いでではなれよう。

### ●津波は、何度もやってくる。

津波は、何度もくり返しおそってくる。  
 地震のゆれがおさまっても、  
 津波警報や注意報が解除されるまでは、  
 津波が来る危険な場所に、絶対に近づかない。





# 3 火 事

## 火事はなぜ起こるのか？

### ●放火

家のまわりにダンボールや空き箱など、もえやすい物は置かない。

### ●火遊び

マッチ・ライターで火遊びは、ぜったい絶対しない。



### ●ストーブ

ストーブの近くに、もえやすい物は置かない。  
ストーブのまわりで、あばれない。



### ●たばこ

寝たばこはしないように、注意してあげよう。

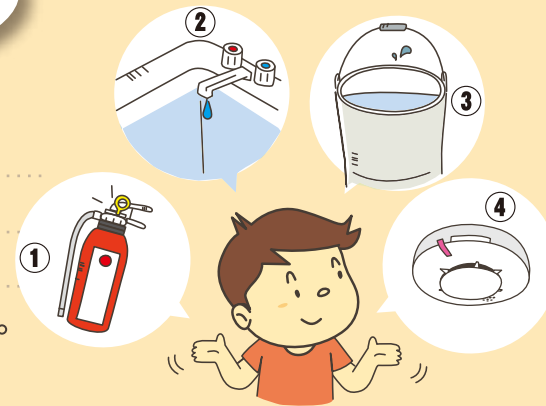


### ●コンロ

火を使っている時は、その場をはなれないように、注意してあげよう。

## 家族の人は しているかな

1. 消火器しょうがきをおく。
2. お風呂ふろに水をはっておく。
3. バケツばけつに水をくんでおく。
4. 住宅用火災警報器じゅうたくよう かさいけいほうきをつける。



## 4 かみなり

### もしも火事になったら・・・

- 大声で火事だー！とさけんで、みんなに知らせる。
- 近所の人に知らせ、119番してもらう。



- けむり煙をすわないように、低いしせいでにげる。
- ハンカチやタオルを持っていれば口と鼻にあてる。
- いったんにげたら、大切な物でも取りに引き返さない。



### 外にいる時に、かみなりがなりだしたら・・・

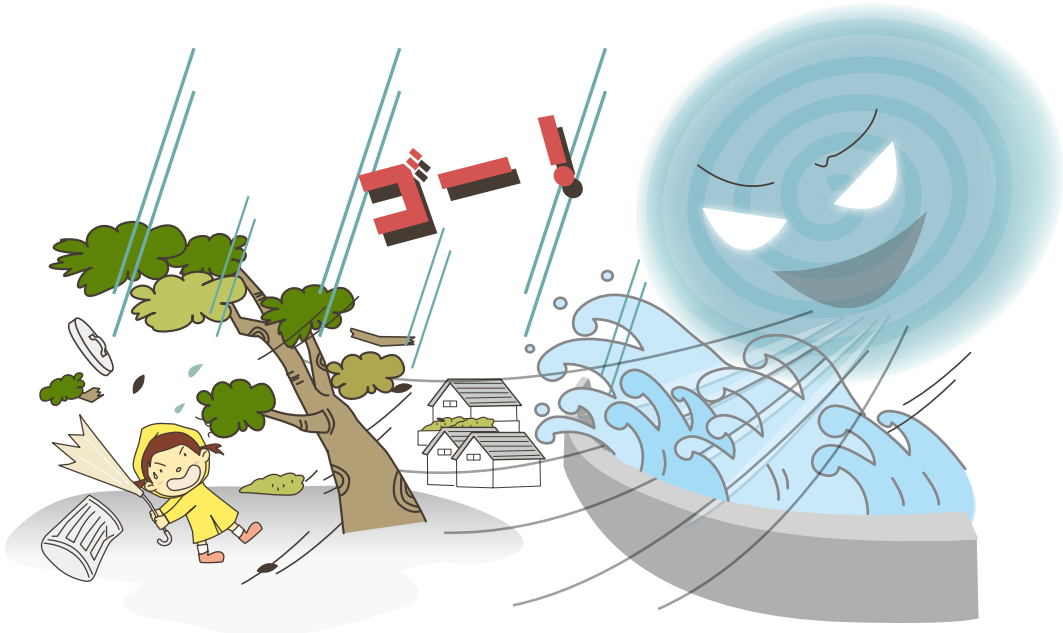


1. たてもの建物の中に、にげよう。
2. 近くに建物がない時は、たてもの金ぞくの物はずし、低いしせいになろう。
3. 大きな木に、近よらないようにしよう。
4. プールや海にいる時は、水から出よう。
5. つりざおやバットなど長いものは、手からはなそう。

# 5 台風

秋は、台風が多い季節なので、注意しよう

台風が近づくと、強い風がふき、大雨になる。  
また、高潮などにより大きな被害を受ける危険もある。



台風が近づいて来たら・・・

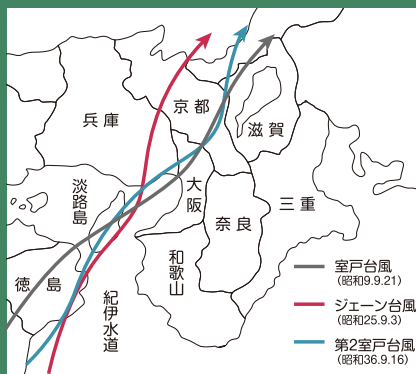
- 外に出ないようにしよう。
- テレビやラジオなどの台風情報に注意しよう。



- ベランダなどにある落ちやすい物、家のまわりの飛び散りやすい物はかたづけよう。
- 窓ガラスがわれないように、まど雨戸をしめよう。
- 水につからないよう、家具や電化製品を高い所へうつそう。



## 大阪をおそった三大台風



この3つの台風では、  
たくさんの人がなくなったり、  
けがをして大きな被害が  
出ました。



- 避難する時は、家族や近所の人たちと、いっしょに行動しよう。
- たれ下がった電線には、近づかないようにしよう。



せまいはん囲で短い時間にたくさん雨がふることを集中豪雨と言う

集中豪雨が起ると、川の水がふえて、川から水があふれたり、道路のみぞやマンホールなどから水があふれるので注意しよう。

### 川や川辺で遊んでいたら

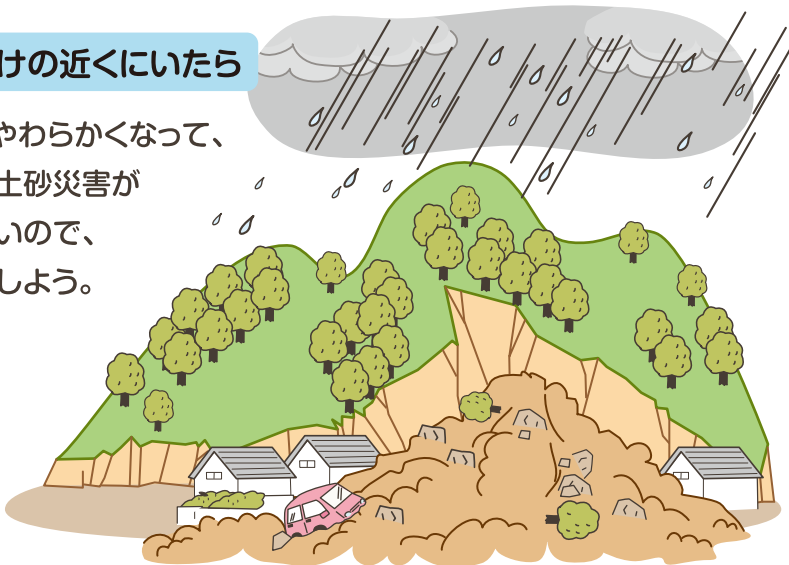
川に流されたり、中洲などではと取り残される危険がある。雨がふり出したら、川の近くからはなれよう。

たすけて!



### 山のしゃ面やがけの近くにいたら

雨水で、山の土がやわらかくなって、がけくずれなどの土砂災害が起るかもしれないので、近づかないようにしましょう。



### 道路を歩いていたら

道路が水につかると、足元が見えないので、転んだりして危険。近くの建物の中に避難しよう。



### 地下街や地下室にいたら

雨が流れこんできて、水の流れで、扉が開かなくなってにげられなくなる。強い雨がふりだしたら、地下からはなれよう。



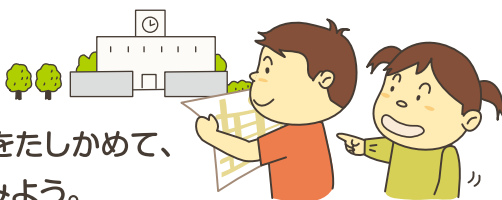


## 自然災害が起こった時、どうすればよいか、 ふだんから家族で話し合っておこう

### どこに、にげるとよいのか

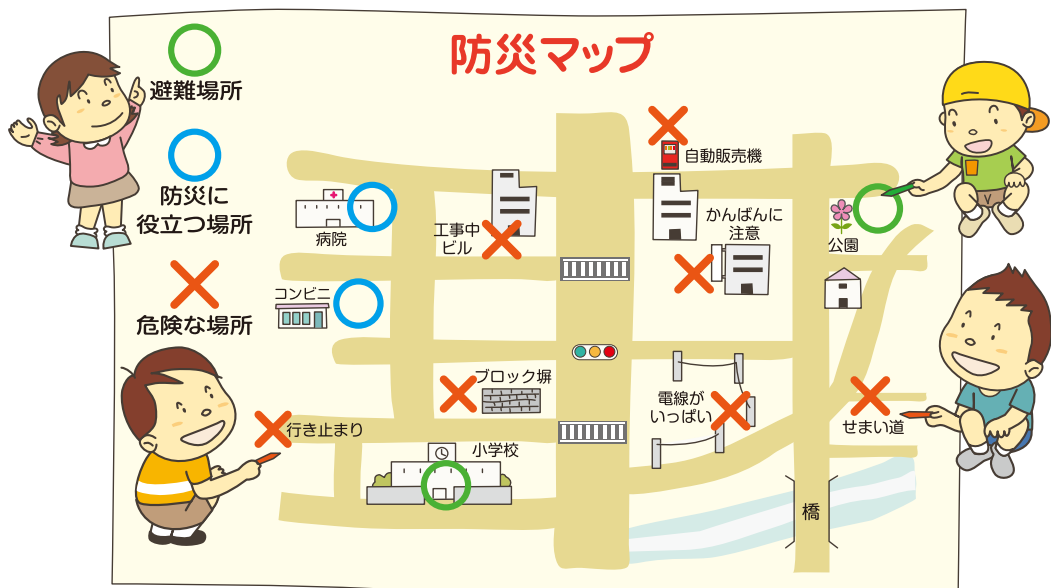
- にげるコースをたしかめておこう。

「避難場所」と「避難場所までの道」をたしかめて、  
家族みんなで、そのコースを歩いてみよう。



- 防災マップを作ってみよう。

災害が起こった時に考えられる、危険な場所、避難場所、避難場所までの道、  
安全な場所、役に立つ場所を地図に記入してみよう。



家族の人や、学校のみんなどいっしょに、家のまわりや学校のまわりを歩いて、  
防災マップを作ってみよう。

### だれが何をすればよいのか

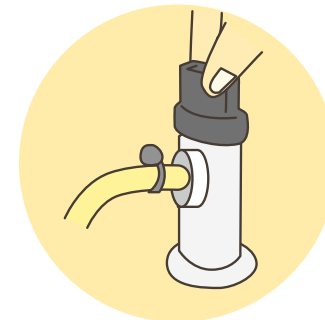
家族で話し合っておこう。

災害の時、どんな役割があるのか知っておこう。

- だれが何をもち出すか。



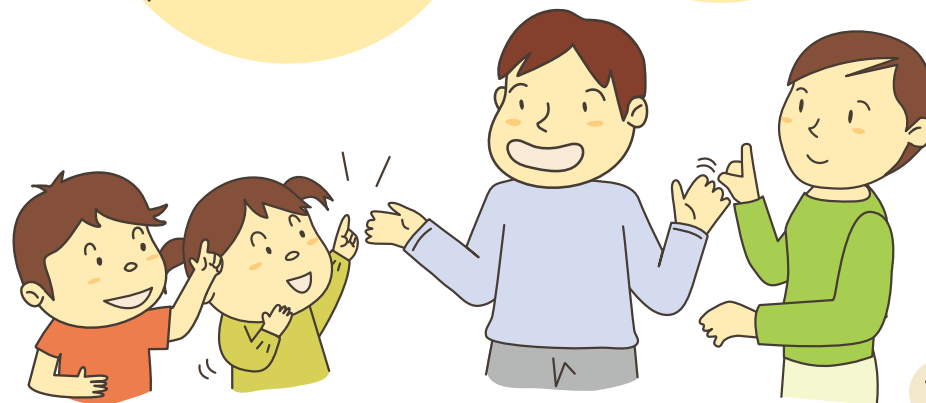
- だれが火の元のかくにんをするのか。



- だれが赤ちゃんやお年寄りを避難させるか。



- だれがにげ道の確保をするか。  
(ドアや窓はだれが開けるか)



## 何を持ってにげたらよいのか

家族で何が**ひつよう**なのかを話し合っ、  
すぐに持ち出せるように、  
まとめておこう。



## 家族との連らく方法は?

さいがい  
災害はいつ起こるかわかりません。

家族がはなればなれになった時の**ほうほう**集合場所や連らく方法を決めておこう。

さいがいようでんごん  
災害用伝言ダイヤル171を知っておこう。

### でんごん ろくおん 伝言を録音する

家の電話番号を市外局番から入力。

171-1-(XXX)XXX-XXXX → 伝言を入れる (30秒以内)



### でんごん さいせい 伝言を再生する

家の電話番号を市外局番から入力。

171-2-(XXX)XXX-XXXX → 伝言を聞く



次の日時は  
たいけんりよう  
体験利用が  
出来ます

- 毎月1日及び15日 (0:00~24:00)
- お正月三が日(1月1日0:00~1月3日24:00)
- 防災週間 (8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間 (1月15日9:00~1月21日17:00)

## 学校でおこる、危険について考えよう

### ●階段の手すりに乗らない、

遊ばない。

階段の手すりきけんで、  
すべっておりたりすると、  
大けがをする危険があるので  
やめよう。



### ●階段や階段付近で、 走ったりあばれたりしない。

人にぶつかったり、  
転んだりする危険があるので  
やめよう。

### ●フェンスで囲まれていたり、 カギがかけられている場所には 近づかない。

そういう場所は、危険な場所。

### ●天窓の上には乗らない。

天窓の上に乗るのは、  
危険だからやめよう。

### ●屋上で授業をするときは、 先生の言うことを聞こう。



### ●窓わくや手すりに乗ったり、 身を乗り出したりしない。 足をすべらせたり、 バランスをくずしたりして、 落ちる危険があるのでやめよう。

### ●窓の近くにおいてある 机や棚の上に乗らない。 机や棚から落ちた時に、窓から 落ちる危険があるのでやめよう。



### ●バルコニーの手すりに乗ったり 身を乗り出したりしない。

バランスをくずして落ちたりする  
危険があるのでやめよう。

### ●ひさしに乗らない。 物がのったりしても、 取りに行くのは危険なので やめよう。



# 9 エレベーター

## ふだんからみんなで注意しよう

### ●決められた定員より多く、無理に乗らない。

決まった人数より多く乗ると、動かなくなるので、定員を守ろう。

### ●ドアに手をふれたり、寄りかからない。

ドアが開くときに手や腕をひきこまれる危険があるので、注意しよう。



### ●エレベーターの中では、とんだりはねたりしない。

ふざけて、とび上がったりとエレベーターが止まる原因になるので、静かに乗ろう。



エレベーターは、便利な乗り物。でも正しく乗らないと、こわれたり止まったりして、とじこめられることがある。他の人の迷惑にもなるので、みんなで、正しく乗ろう。

### ●用のないボタンやスイッチにはさわらない。

エレベーターが止まったり、こわれる原因になるので、やめよう。



### ●ペットのリードやマフラー、なわとびなど、長いひもは注意しよう。

ひもがドアにはさまれたままで、エレベーターが動きだすと大きな事故になるので、注意しよう。もし、はさんでしまったら、手や体からはなそう。



### ●火事や地震の時は、乗らない。

エレベーターが止まるとじこめられることがあるので階段を使おう。



# 10 エスカレーター

## ふだんから危険な乗り方はやめよう

### ●手すりの外へ体を乗り出さない。

天井や壁に頭をぶついたり、  
はさまれたり、  
落ちたりする危険があるので、  
やめよう。



### ●黄色い線の内側に乗る。

ステップの黄色い部分は、  
くつがまきこまれる  
危険があるので注意しよう。



### ●降り口付近で立ち止まらない。

後ろの人が降りられなくなったり、  
たおれてけがをする  
危険があるので、  
やめよう。

大けがをする危険があるので、エスカレーターに乗るときは、  
遊ばない・歩かない・走らない。  
必ず手すりをもって黄色い線の内側に乗ろう。

### ●動く方向と、逆に乘ったり、 走ったりしない。

たおれて、けがをしたり、  
他の人の迷惑になるので、  
やめよう。



### ●乗り口、降り口付近で 遊ばない。

手や足や服をはさまれたり、  
大けがをする危険があるので、  
やめよう。

### ●手すりに乗ったり、 またがったりしない。

体をはさまれたり、  
落ちたりして大けがをする  
危険があるので、  
やめよう。



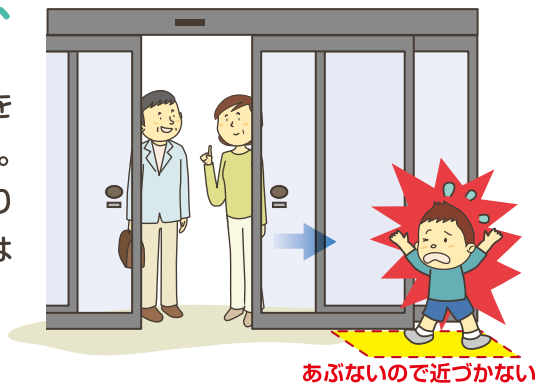
# 11 自動ドア・回転ドア

ふだんから注意して出入りしよう

## 自動ドア

### ●自動ドアに寄りかかったり、さわったりしない。

他の人が開けて転んだり、手をはさんでけがをするからやめよう。  
戸袋は、自動ドアが行ったり来たりする所。あぶないので戸袋には近づかない。



あぶないので近づかない



### ●しまりかけた自動ドアにかけこまない。

しまりかけた自動ドアはすぐに開かない。  
体や頭がはさまったりして大けがをするのでやめよう。



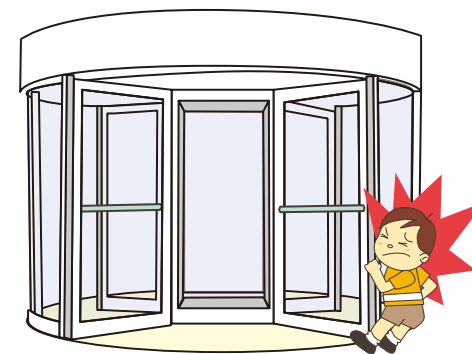
### ●自動ドアが動く部分では立ち止まらない。

とじてきた自動ドアにぶつかったり、次に通る人の迷惑になるからやめよう。

## 回転ドア

### ●回転ドアにかけこまない。

回転ドアにかけこむと、体や首がはさまったりして大けがをするのでやめよう。



### ●回転ドアでは遊ばない。

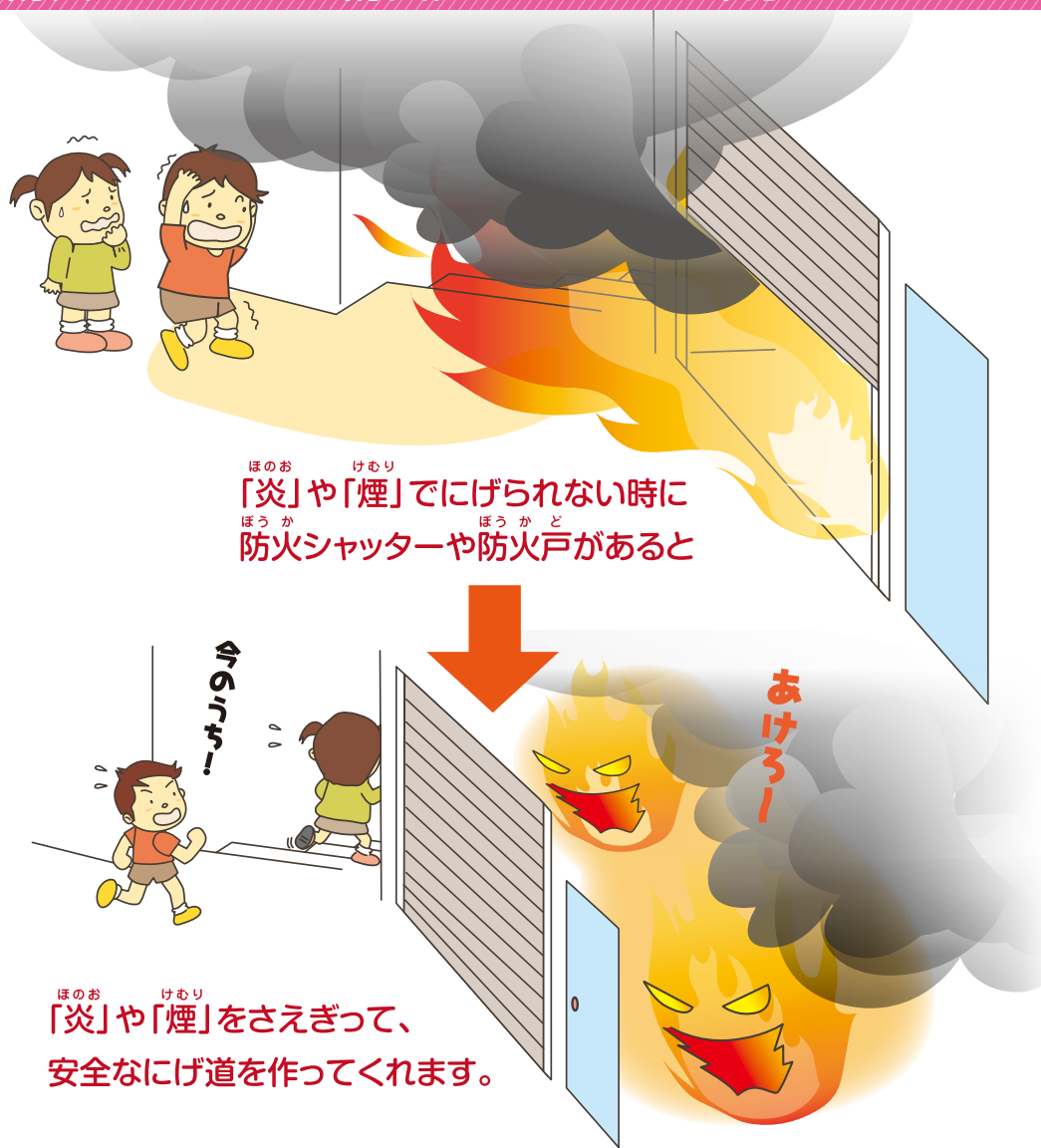
回転ドアの中でとんだり、はねたり、回転ドアにぶら下がったりするのは、けがをしたり、他の人の迷惑になるのでやめよう。

### ●動いている回転ドアに手や足、首をださない。

回転ドアに、手や足、首がはさまって大けがをするのでやめよう。  
回転ドアのすきまに手足をいれるのもやめよう。



## ぼうか 防火シャッターや防火戸はみんなの味方



ぼうか ぼうか ど  
防火シャッターや防火戸も、ふだんの使い方によっては、  
きけん 危険な物になるので、次のことに注意しよう。

## ● ぼうか 防火シャッターや防火戸の近くでは、遊ばない。

ぼうか ぼうか ど  
防火シャッターの下や防火戸で遊んだりしていると、  
けがをするかもしれないのでやめよう。

● ぼうか 防火シャッターや防火戸の  
かんちき 感知器にいたずらしない。

かんちき  
感知器がこわれると、火事の時に  
ぼうか ぼうか ど  
防火シャッターや防火戸が、  
動かなくなります。

● ぼうか 動いている防火シャッターの下を  
くぐらない。

ぼうか ぼうか ど  
防火シャッターや防火戸にはさまれたら、  
大けがをします。  
ぼうか  
防火シャッターは、大人でも  
持ち上がらないくらい重いです。

● こんなときは、大人の人に  
知らせよう。

ぼうか ぼうか ど  
防火シャッターの下や防火戸の前に、  
物が置いてあると、  
いざという時しまらなくなります。





# めざせ! 防災博士 ぼうさい ○×クイズ



この本を読んで、防災について学んだ事を○×クイズでおさらいしてみよう。

1 じしん地震が起きてびっくりしたので、あわてて外にとび出した。

2 つなみ津波が来るのは、海岸だけで川には来ないのでにげなくてもよい。

3 火事になって外ににげたけど、大切な物を取りにもどった。

4 ひなんかみなりがなり出したので、大きな木の下に避難した。

5 台風が近づいてきたので、ベランダにある落ちるとあぶない物をかたづけた。

6 川で遊んでいるとき、雨がふりだしたが、止みそうだったので、そのまま遊ぶことにした。

7 かいちゅうでんとう持ち出し品の中に、懐中電灯やチョコレートを準備しておけば、いざというときに役に立つ。

8 学校のひさしに、ボールがのったので、うんどうしんけい運動神経のいい子に取りにいってもらった。

9 エレベーターの中では、だれもいなくなれば、とんだりはなたりしてもよい。

10 エスカレーターで走ってはダメだが歩くのはよい。

11 自動ドアが、閉まりかけていたが、走れば間にあうのでかけこんだ。

12 気になったので、ぼうか防火シャッターやぼうかど防火戸のかんちき感知器にボールをあててみた。



## 結果はどうなったかな?



正解の数

**全問正解** おめでとう! 君は立派な防災博士。おうちの人にも防災について教えてあげよう。

**7~11問** おいしい! 防災博士までもう一息。まちがえたところをおさらいして防災博士をめざそう。

**6問以下** **がんばろう!** 防災博士までにはまだ遠い。この本を読み直して、もう一度チャレンジしてみよう。

○×クイズの答えは、1ページにあります。